



広報よこはま
港北区版を
スマホで読む



港北区
ツイッター



6月号
No.308

こっほく

/// 大雨シーズン到来! ///

風水害の 疑問は Q&A ここで解決

この看板を
見たことはありますか?



青いテープはその地点の**想定浸水深**を示しています

港北区では、区民の皆さんに防災意識を高めていただくため、洪水時に浸水が想定される区域内的の電柱に、河川が氾濫した際の最大の浸水深を表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を設置しています*。

大雨による洪水や土砂災害の発生に備え、風水害時の避難等について確認しておきましょう。

*2022年度は大倉山・綱島地区に設置しました。2023年度以降も区内の浸水想定区域に順次設置します。

Q1 私の住んでいる場所は安全?危険?

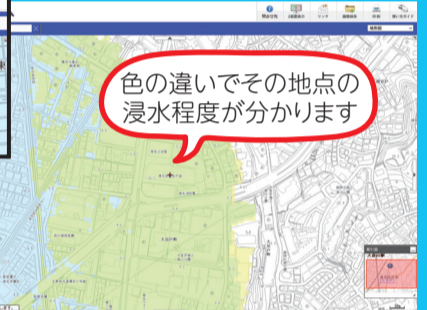


A1 自宅の災害リスクの有無は
ハザードマップで確認できます。

ウェブサイトでは住所を入力すると、そのエリアの災害リスクを調べられるので、確認してみましょう。

災害リスクの確認方法

例：わいわい防災マップ
(洪水・内水・高潮浸水想定区域)

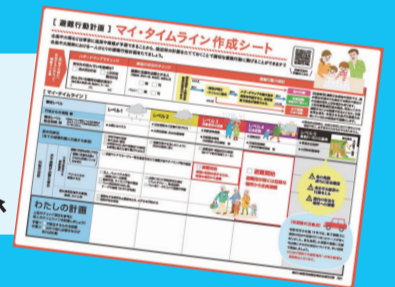


色の違いでその地点の
浸水程度が分かります

調べたい場所の
住所を入力し、**検索**をクリック

住んでいる場所の災害リスクを確認し、家族構成や地域特性を踏まえた避難行動計画「マイ・タイムライン」を作成しておきましょう!

横浜市 マイタイムライン 検索



災害リスクの確認方法

横浜市行政地図情報提供システム
「わいわい防災マップ」
(洪水・内水・高潮浸水想定区域)

横浜市 わいわい防災マップ 検索



神奈川県土砂災害警戒情報システム
(土砂災害警戒区域・特別警戒区域)

神奈川県 土砂 システム 検索



Q2 避難情報はどこで知ったらいいの?

A2 **テレビやウェブサイトに加え、
メールやSNSでも確認**できます。

自分に合った手段を活用し、避難情報等を入手してください。

情報収集手段の
詳細はこちら



主な情報収集手段	特徴	利用者登録
テレビのデータ放送	テレビのdボタンで簡単に操作可能	不要
横浜市や港北区のウェブサイト	避難情報等を随時掲載	
横浜市防災情報Eメール	気象警報等の情報が自動的にEメールで届く	必要
港北区ツイッター	避難情報等を随時発信	
横浜市避難ナビ (スマートフォン用アプリ)	ハザードマップの確認や避難情報の通知等、平時と災害時の両方を支援 ※プッシュ通知あり	
港北区防災情報アプリ (スマートフォン用アプリ)	気象警報や避難場所の開設状況等、港北区の防災情報をまとめて入手可能 ※プッシュ通知あり	

Q3 どこに避難すればいいの?

A3 **風水害時の主な避難場所は、指定緊急
避難場所に指定された17の小中学校です。**

避難する時は、テレビのデータ放送や横浜市・港北区のウェブサイト等で、避難場所の開設状況を確認してから避難しましょう。



区内の指定緊急避難場所は 検索

自宅に危険が無い場合は...

在宅避難を行ってください。在宅避難時の停電や断水に備え、日頃から照明や水を確保しておきましょう。

大雨による洪水や土砂災害に備え、適切に避難ができるよう、港北区では「港北区大雨時の避難行動を考えよう」というパンフレットを配布しています。



ダウンロードは 検索



●問合せ 総務課 防災担当 ☎540-2206 📠540-2209

港北
区役所

〒222-0032
港北区大豆戸町 26-1
☎540-2323 (代表)
📠540-2227

開庁日

なるべく電車・バスで
ご来庁ください

月～金曜 (祝休日・年末年始除く) 8時45分～17時
第2・4土曜 9時～12時 6月は10日・24日
(戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の窓口)

港北区の
データ
(2023年
5月1日現在)

人口
363,007
世帯数
180,940